

■医工学特論 –Toy Invention Program 1, 2– (配当年次:1年次～)

【科目概要】

カナダの大手玩具メーカーの SPIN MASTER 社による寄付講座として開設する科目。玩具を対象にして企画・開発・試作・商品プレゼンテーションを学生自らが主体的に取り組み、主に下記の6項目を学ぶことが出来る。

(海外渡航については新型コロナウイルス感染症および対策状況による)

- 1.商品企画:玩具の企画を行う。
- 2.商品開発:玩具の開発を行う。
- 3.マーケティング:企画した玩具のマーケティングプランを作成する。
- 4.ものづくり(デザイン・構造設計・電気基盤・量産):企画した玩具の試作をする。
- 5.プレゼンテーション(英語):SPIN MASTER 社に企画玩具のプレゼンテーションをする。
- 6.実践のグローバルビジネス:玩具業界を通じてグローバルビジネスを体験する。

【履修条件】

- ・以下2科目をセットで登録すること。何れか1科目の登録は認められない。
医工学特論–Toy Invention Program 1– (2単位・春学期)
医工学特論–Toy Invention Program 2– (2単位・秋学期)

【定員】

20名

【登録申請関連】

1. 科目説明会

◎講義内容以外にも面接や受講における諸注意も説明するので、受講希望者は必ずいずれかの回に参加すること。

日程:【第1回】3月25日(月)15時00分～ 【第2回】3月26日(火)11時00分～

方法:Zoomでのオンライン実施。

生命医科学部ホームページコンテンツ「科目登録・履修について」で公開するミーティング ID・パスワードを入力し、各回開始時刻の5分前に参加すること。

2. 登録手続

【2年次生】

下表に示した以下3つの手続きを全て満たした者を対象に選考を行い、履修可否を決定する。

手続内容	受付期間・手続要領
1. 先行登録申請	【期間】3月26日(火)10時～29日(金)17時 【手続】DUET上から申請すること
2. 志願票提出	【期間】3月26日(火)～29日(金)17時 【手続】志願票様式を生命医科学研究科 HP「科目登録・履修について」ページよりダウンロードし、必要事項を記入の上、大学付与メールアドレスから生命医科学研究科事務室メールアドレス宛に送信すること。メールには以下内容を必ず記載すること。 ①メールタイトル:「特別講義(TIP)申請」 ②記載事項:学生ID、氏名、学部学科
3. 面接	【期間】4月3日(水)13時【予備日:4日(木)】 【形式】Zoomでのオンライン面接(1名につき10～15分) 【方法】4月2日に面接スケジュール、ミーティングID、パスワードをDUETメッセージ機能を通じて通知するので、指定された日時にZoom参加し、面接を受けること。 申請者が多い場合は4月4日にも面接実施する可能性があるため、申請者は3日、4日の両日ともに予定を空けておくこと。欠席は認められない。

【1年次生(新入生)】

下表に示した以下の手続きを満した者を対象に選考を行い、履修可否を決定する。

手続内容	受付期間・手続要領
志願票提出	<p>【期間】4月1日(月)~4日(木)17時</p> <p>【手続】志願票様式を生命医科学研究科 HP「科目登録・履修について」ページよりダウンロードし、必要事項を記入の上、大学付与メールアドレスから生命医科学研究科事務室メールアドレス宛に送信すること。メールには以下内容を必ず記載すること。</p> <p>①メールタイトル:「特別講義(TIP)申請」</p> <p>②記載事項:学生ID、氏名、専攻・コース</p> <p>*書類審査の結果、面接を実施する可能性がある。実施する場合は個別にDUETメッセージにて周知する。</p>

3. 選考結果発表

【2年次生】4月6日0時に DUET 上で選考結果を発表する。

【1年次生】個別 DUET メッセージを通じて発表する。

■医工学特論 -Innovative Toy Invention Program 1, 2- (配当年次:1年次~)

【履修条件】

- ・以下 2 科目を過去に履修済みであること。
 - 特別講義 -Toy Invention Program 1- (2 単位・春学期)
 - 特別講義 -Toy Invention Program 2- (2 単位・秋学期)
- ・または院在籍時に以下 2 科目を履修済みであること
 - 医工学特論 -Toy Invention Program 1- (2 単位・春学期)
 - 医工学特論 -Toy Invention Program 2- (2 単位・秋学期)

履修希望者は、4月4日(木)までに下記教員まで直接問い合わせること。

渡辺 公貴 <kiwatana@mail.doshisha.ac.jp>